

小白浜地区
地権者連絡会・復興まちづくり協議会

平成26年3月27日(木)
18:00 ~ 19:30

次第

1. 市長からの挨拶
2. 住宅再建意向調査の集計結果について
3. 前回協議会(8/5開催)のふりかえり
4. 土地利用計画(自力再建宅地)
5. 浸水跡地の利用計画
6. 復興公営住宅の今後の建設の進め方
7. 意見交換

2. 住宅再建意向調査の集計結果について

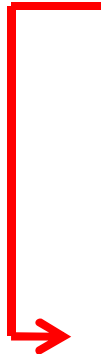
被災時の居住地区別、住まいの再建方法の内訳

被災時の居住地区	発送	回収	→	公営	自力	その他
小白浜地区	89	87		31	23	33

→	再建方法	世帯数
	小白浜で自力再建	20
	小白浜の復興公営住宅に入居	26
	地区外で自力再建	2
	地区外の復興公営住宅に入居	5

・小白浜地区内の**自力再建者**の詳細について(意向調査結果)

自力再建(世帯数)	今回	前回(参考)
土地は市が用意	6	11
土地は自ら用意	14	1



希望坪数	世帯数
80	22
60	3

合計: 25宅地

他地区から19世帯追加

・小白浜地区**復興公営住宅**の詳細について

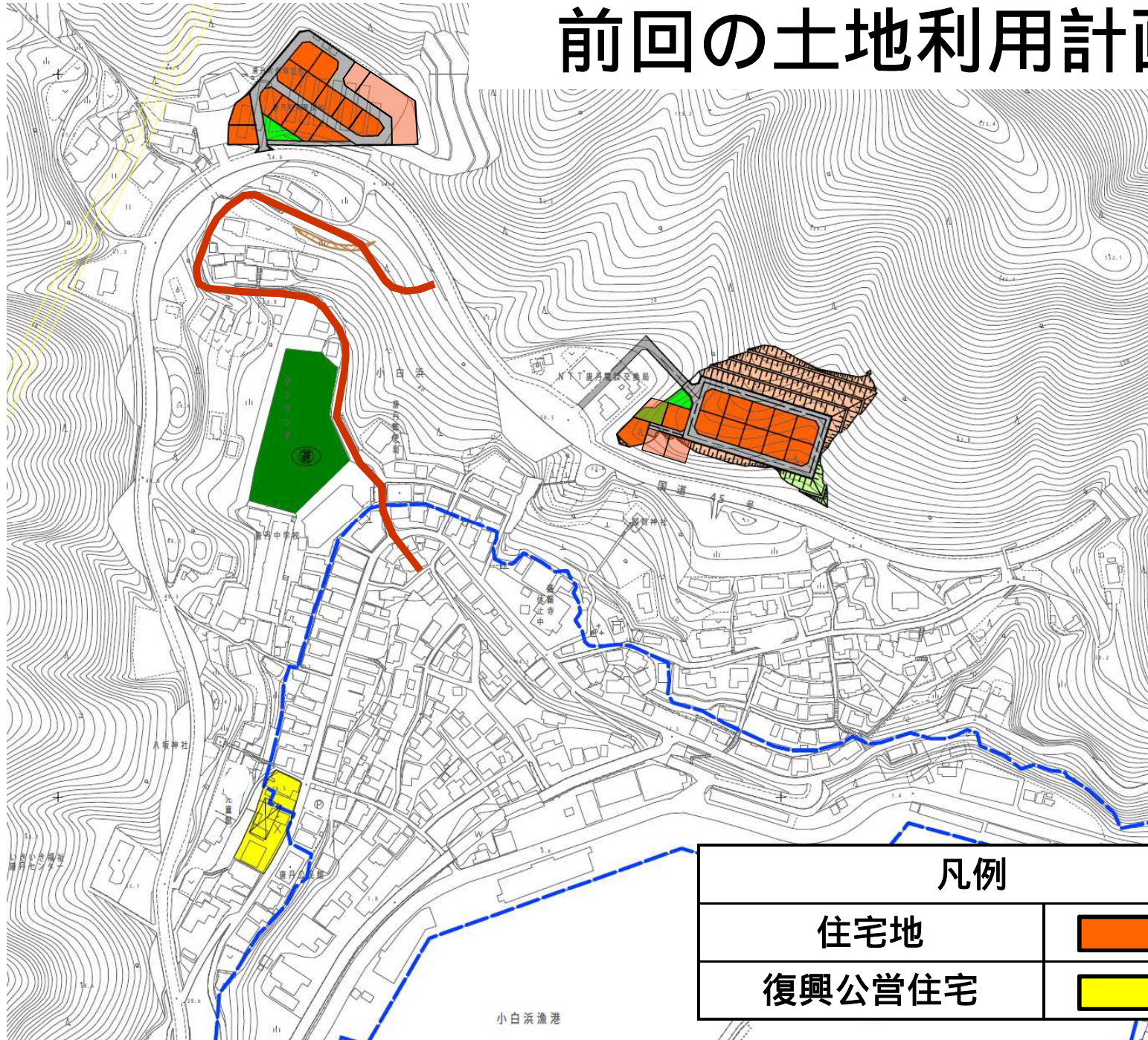
**合計: 30戸(集合住宅
27戸、木造長屋3戸)**



他地区から4世帯入居

参考(前回) 40戸

3. 前回協議会(8/5開催)のふりかえり

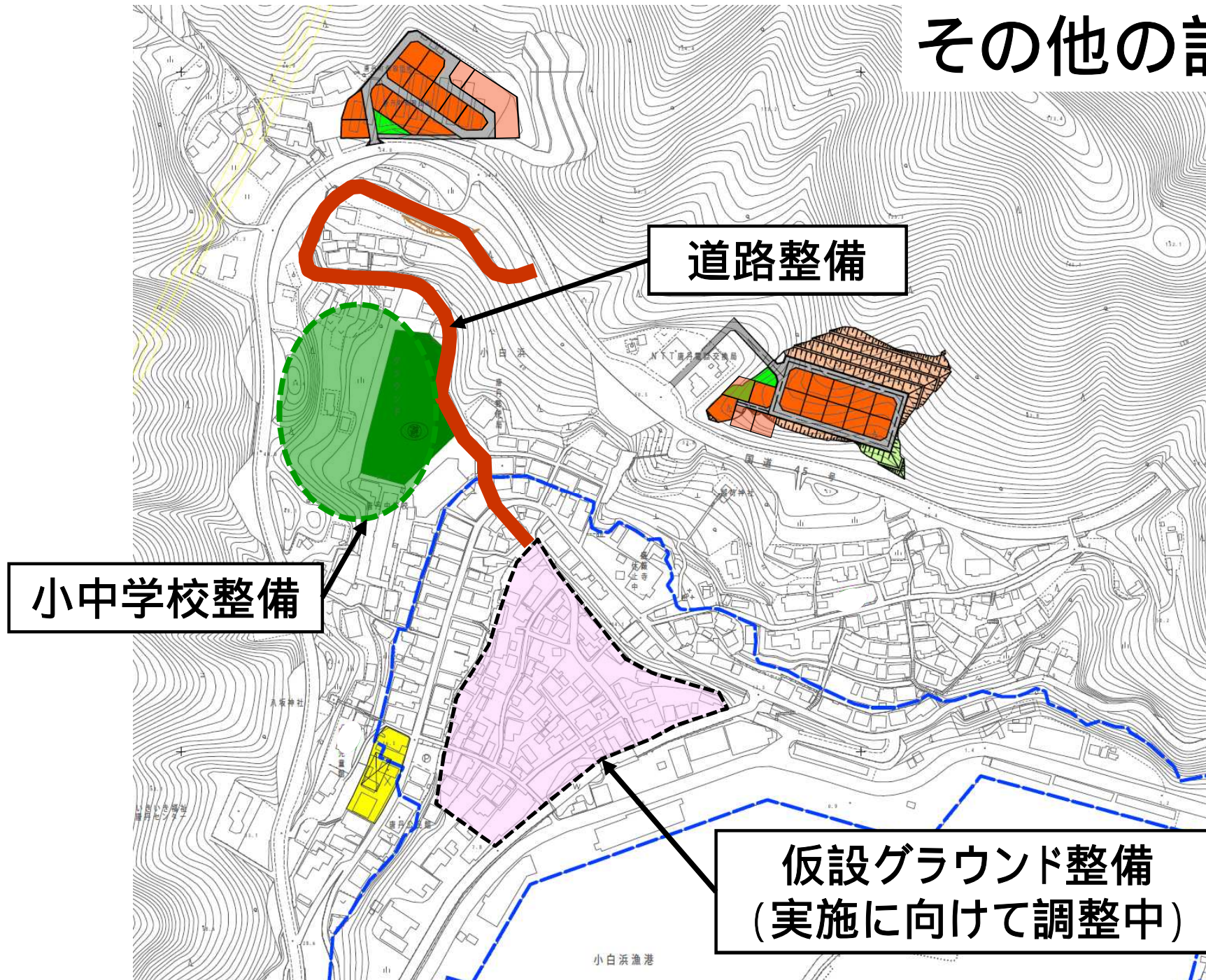
前回の土地利用計画図



凡例	
住宅地	
復興公営住宅	

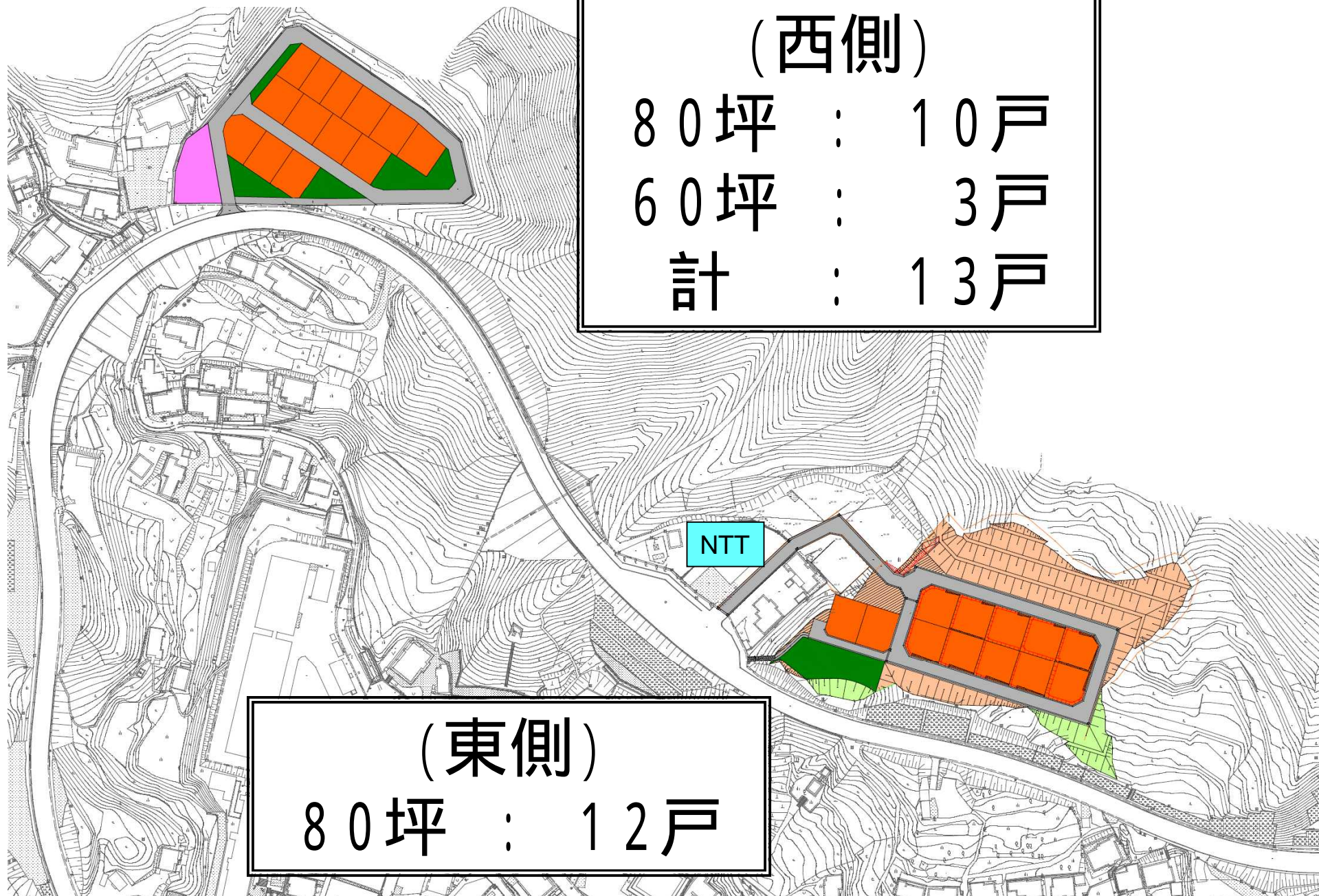
小田浜漁港

その他の計画



4 . 土地利用計画(自力再建宅地)

土地利用計画図



(西側)

80坪 : 10戸





60坪 : 3戸

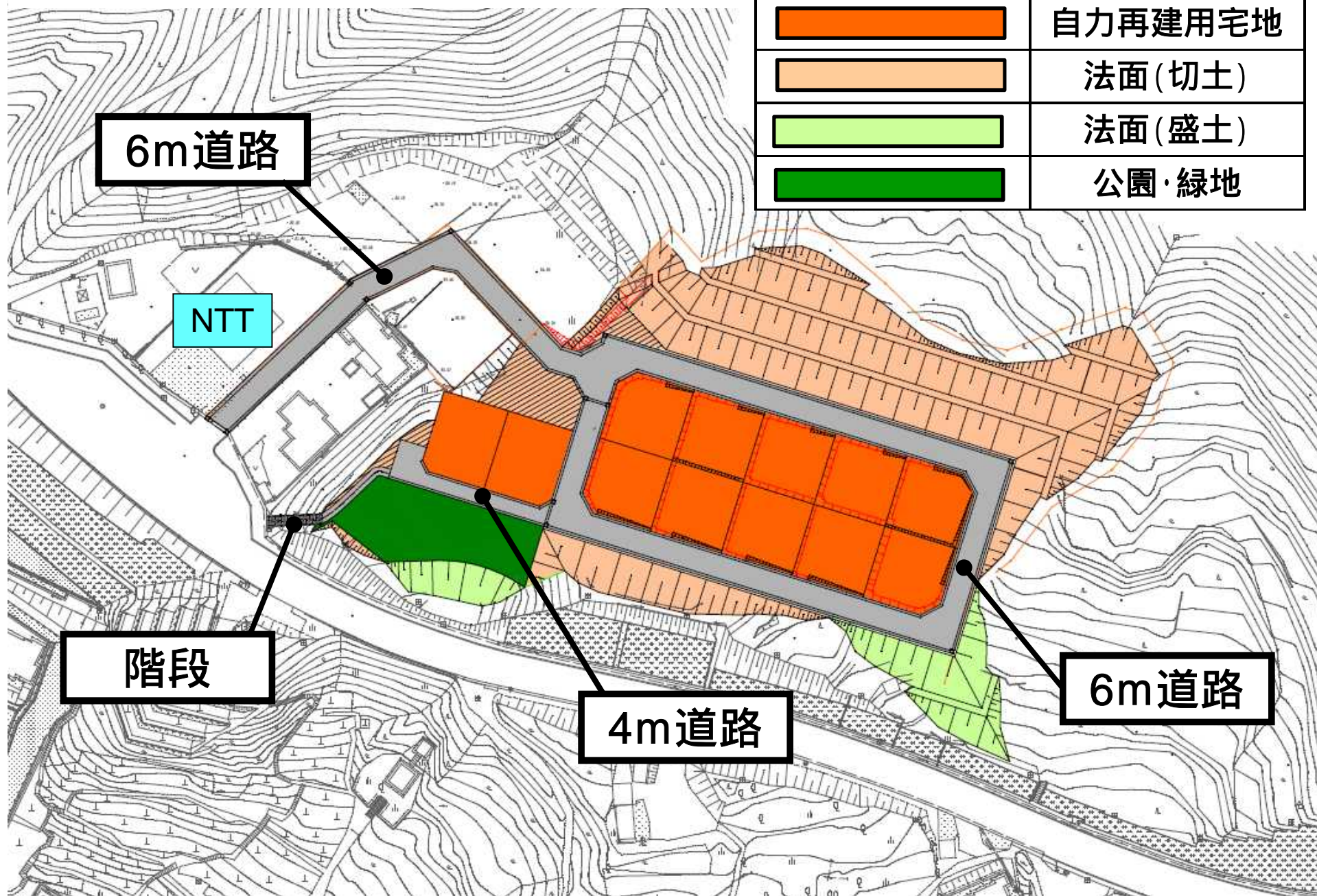
計 : 13戸

(東側)

80坪 : 12戸

(東側) 土地利用計画図

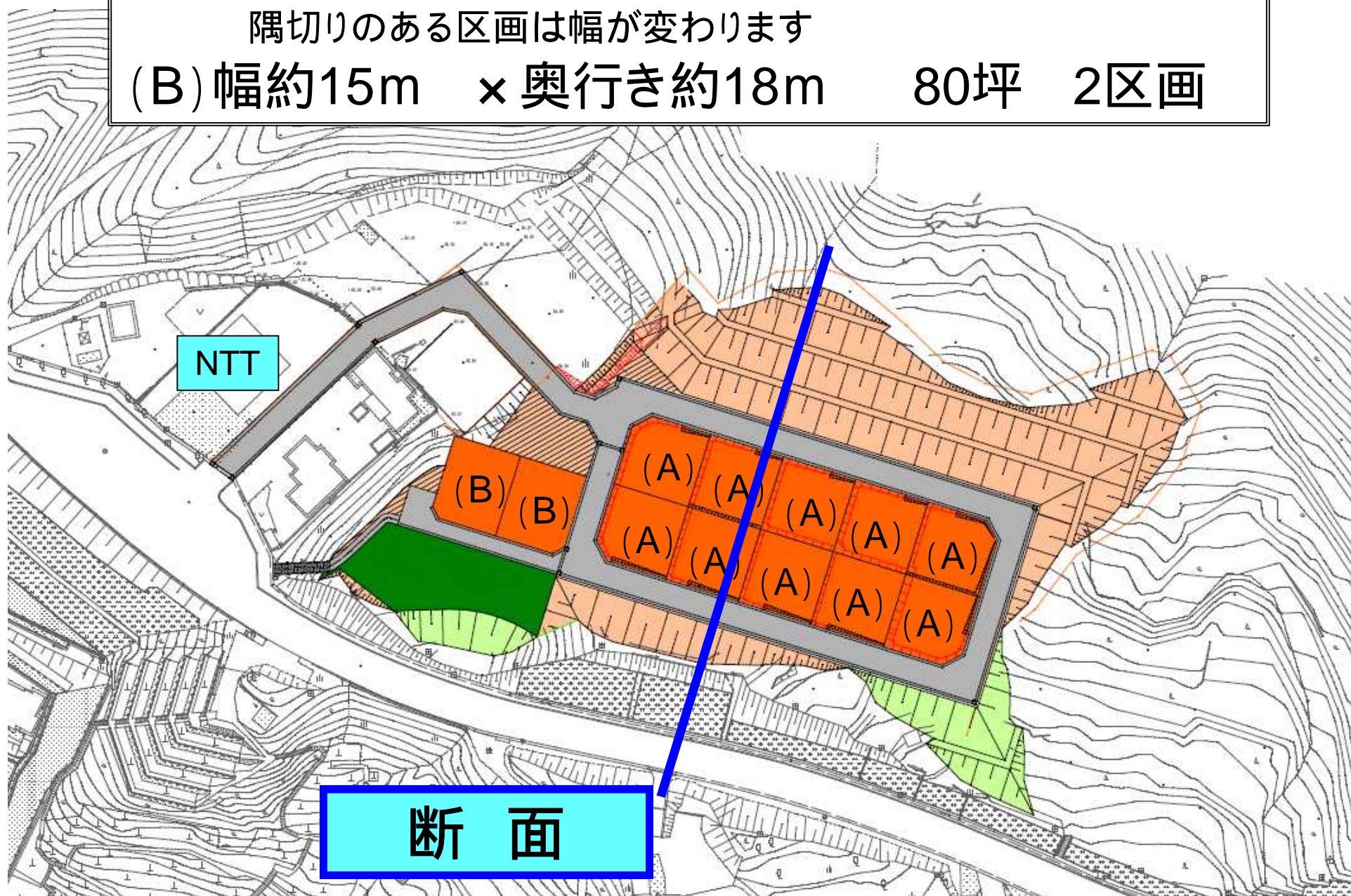
凡例	
	自力再建用宅地
	法面(切土)
	法面(盛土)
	公園・緑地



(A) 幅約16.3m × 奥行き約16.3m 80坪 10区画

隅切りのある区画は幅が変わります

(B) 幅約15m × 奥行き約18m 80坪 2区画



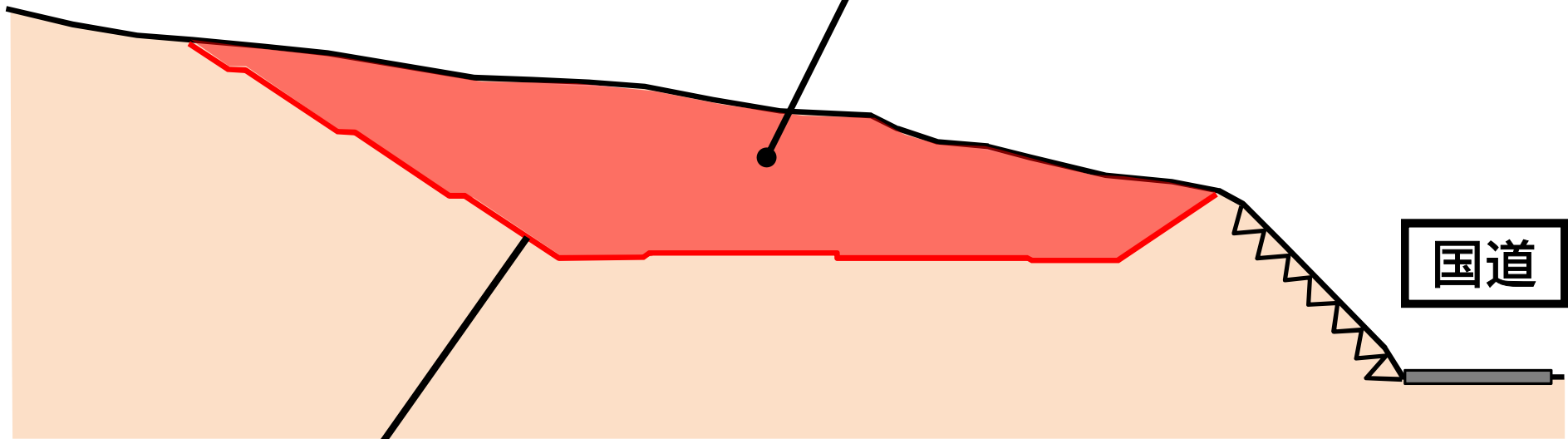
断面

山側

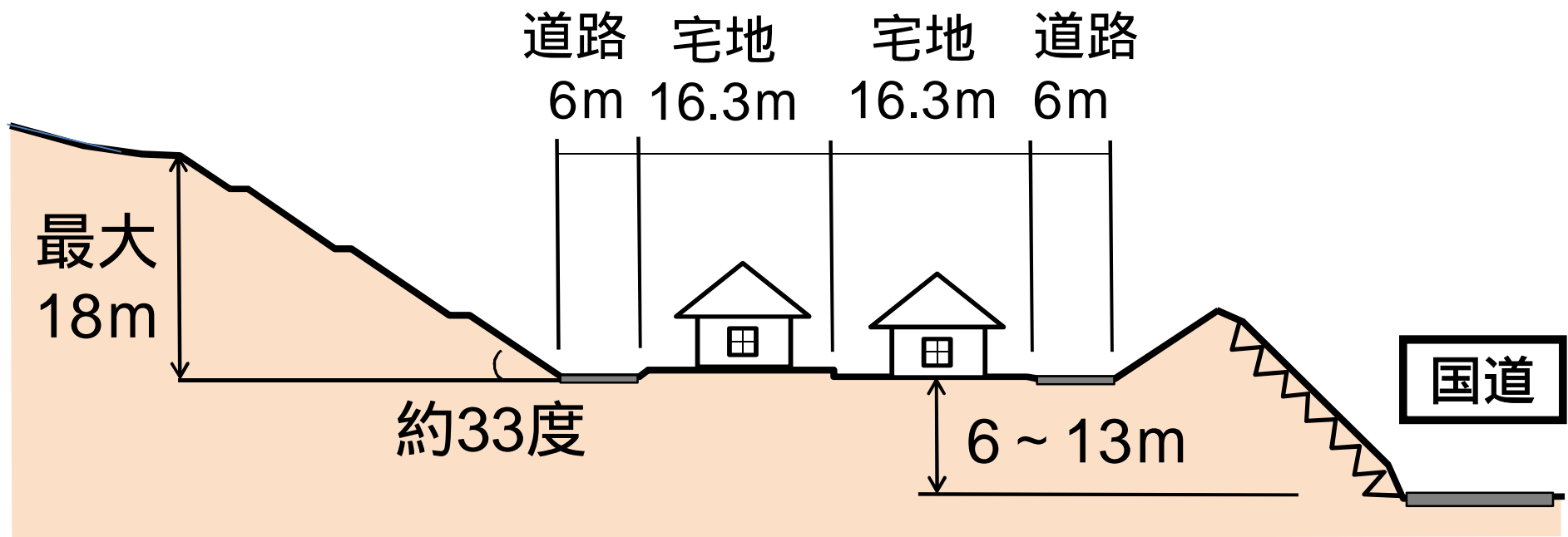
切土

国道




計画地盤

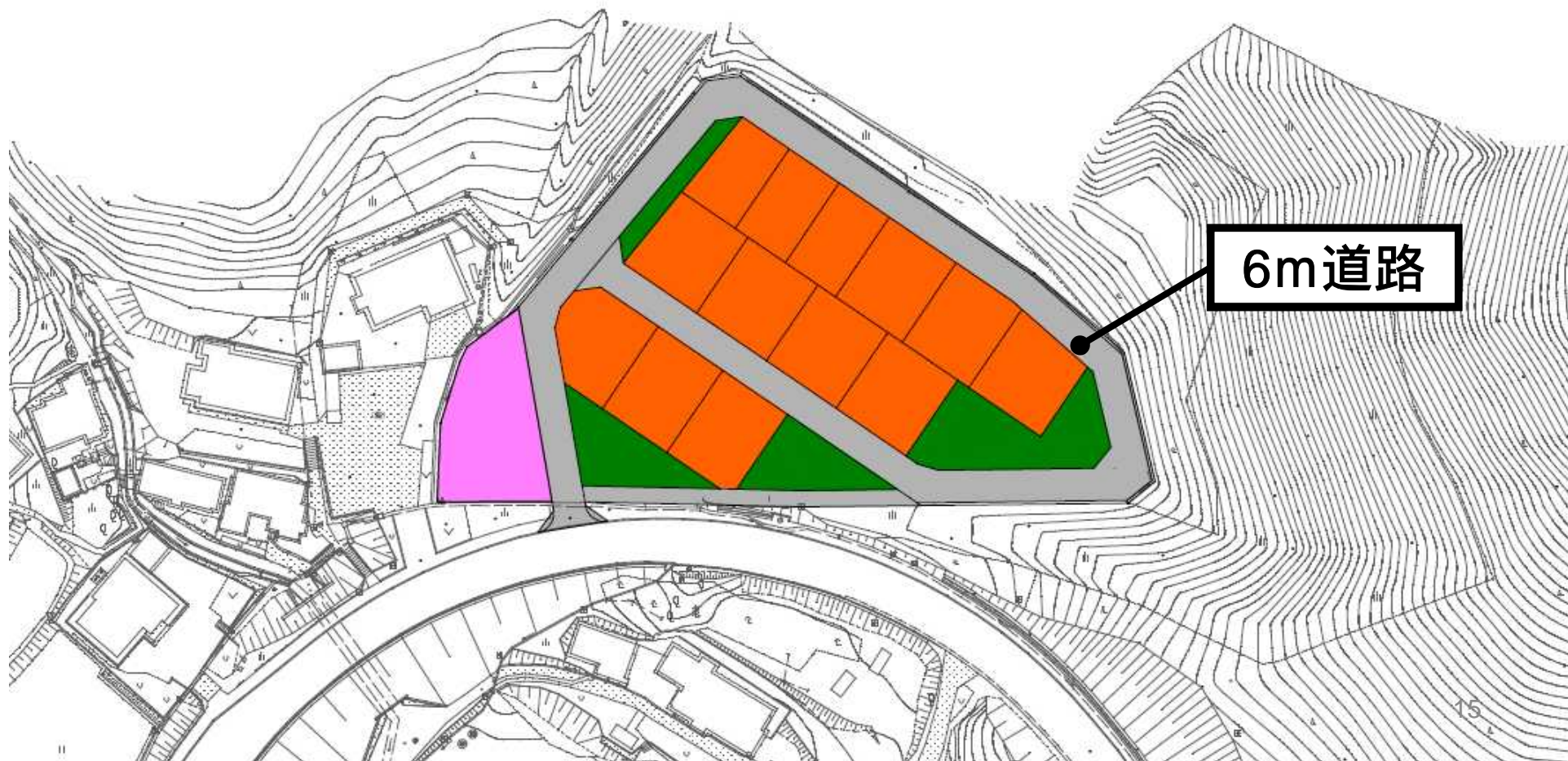


山側



(西側) 土地利用計画図

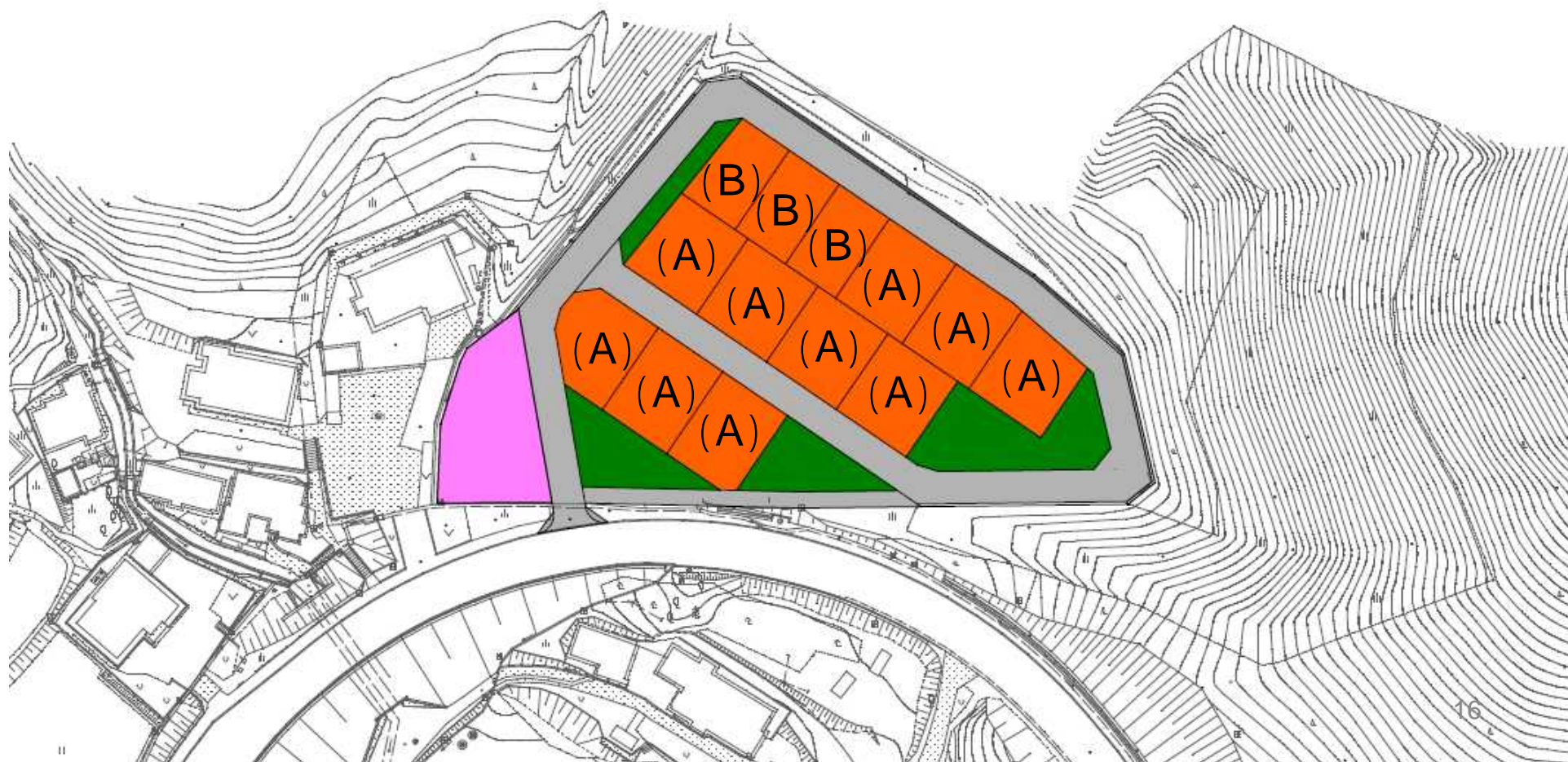
凡例	
	自力再建用宅地
	交番用地
	公園・緑地帯



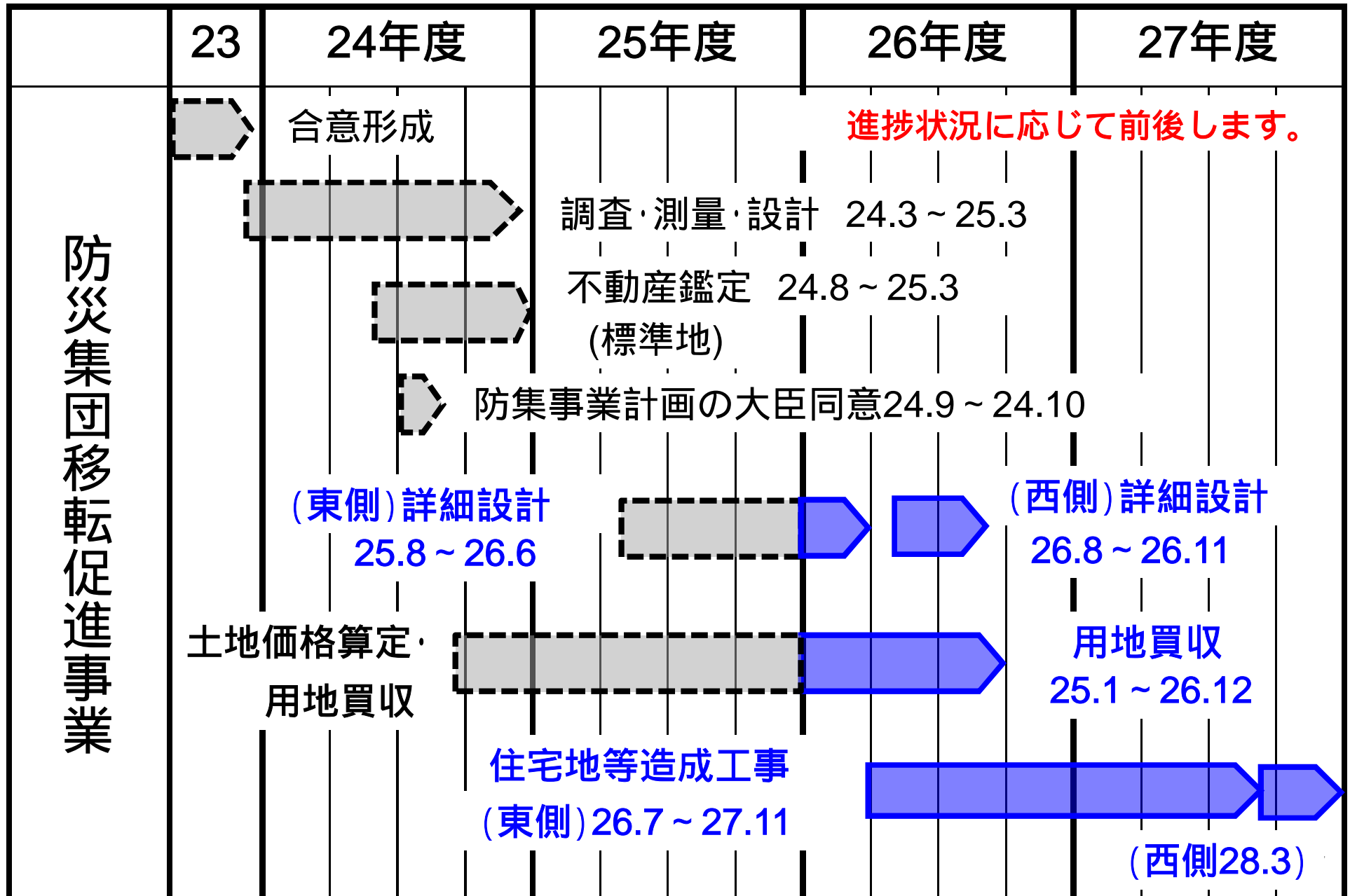
(A) 幅約15m × 奥行き約17.6m 80坪 10区画

区画によって若干寸法が変わります。

(B) 幅約11.2m × 奥行き約17.8m 60坪 3区画

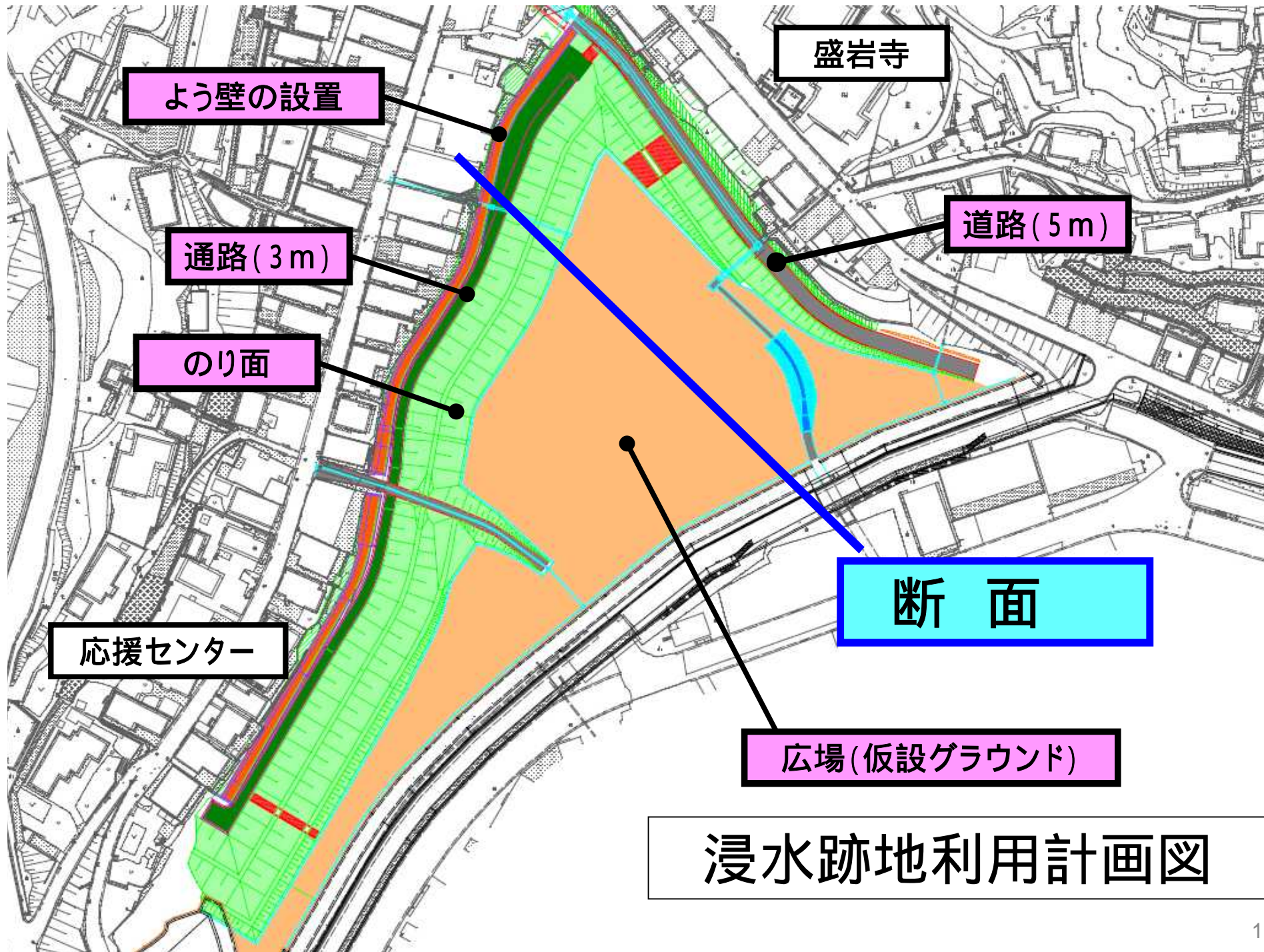


事業実施スケジュール(案)【小白浜】



5. 浸水跡地の利用計画

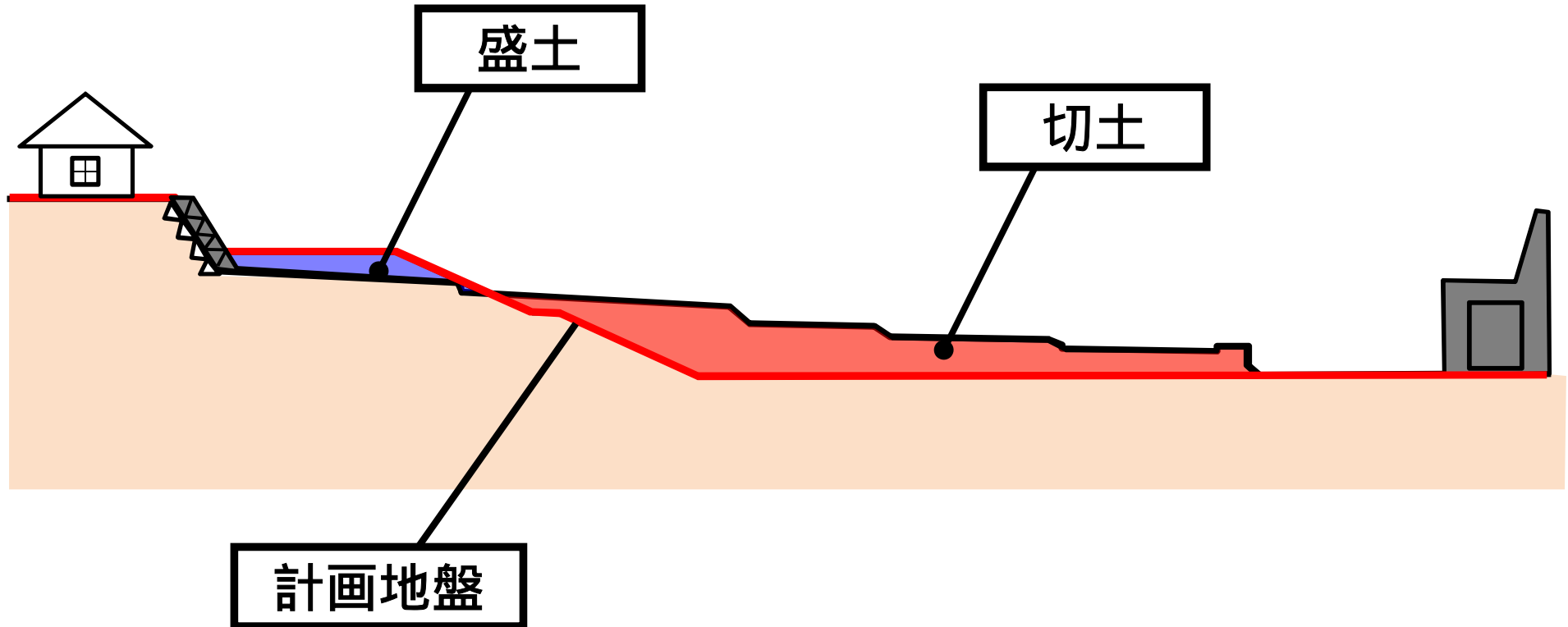
昨年10月に町内会から要望をいただいた、
「海の広場案について」の内容をふまえて検討したものです。



断面

宅地側

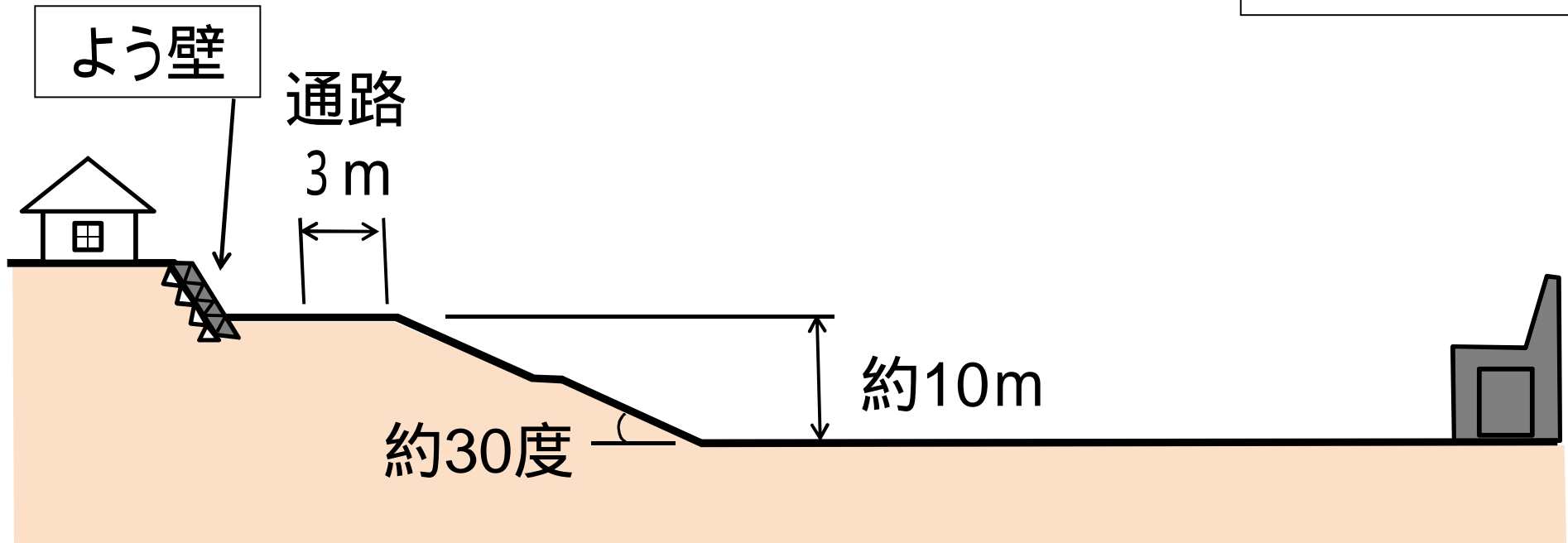
防潮堤側

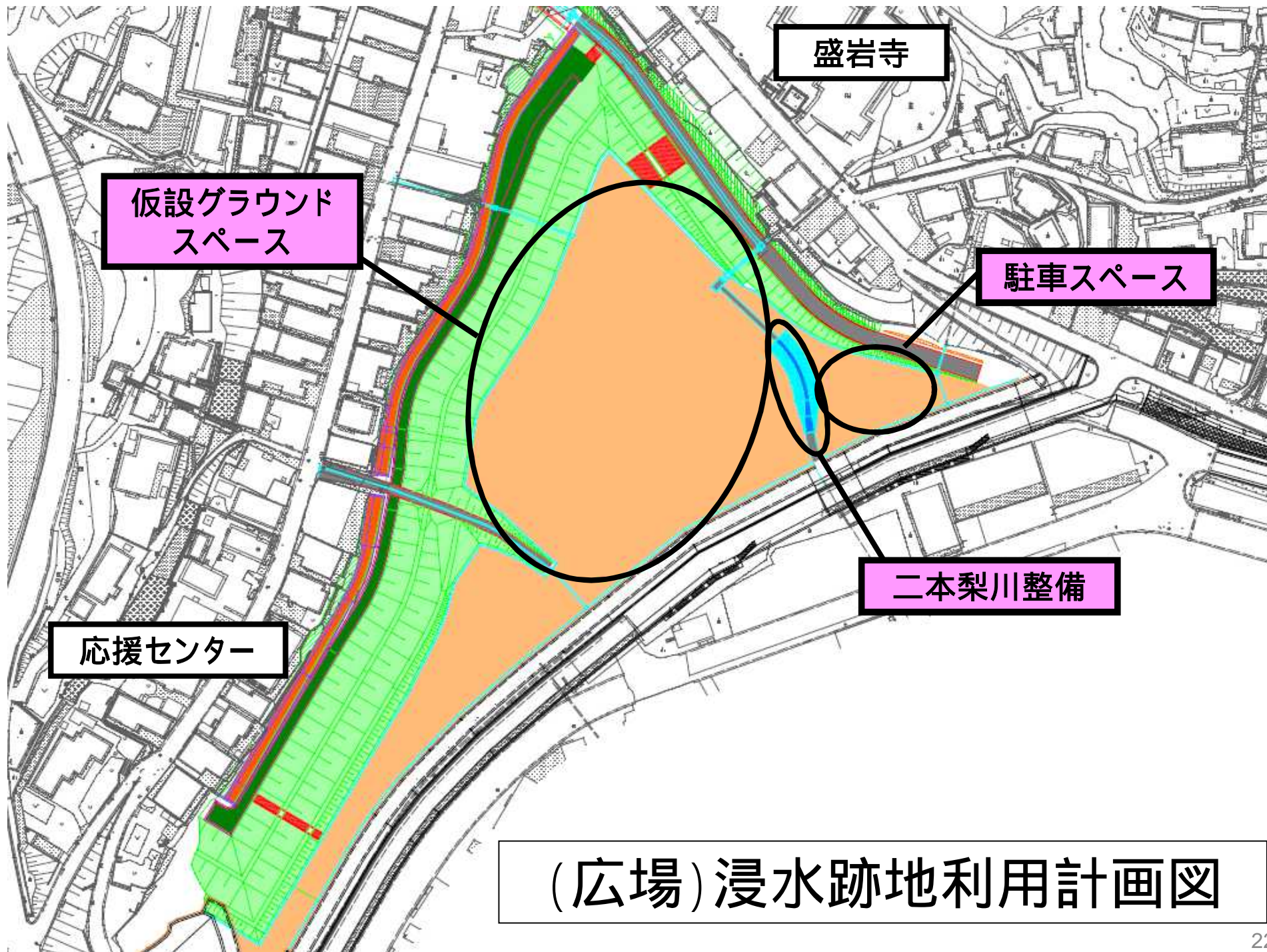


断面

宅地側

防潮堤側





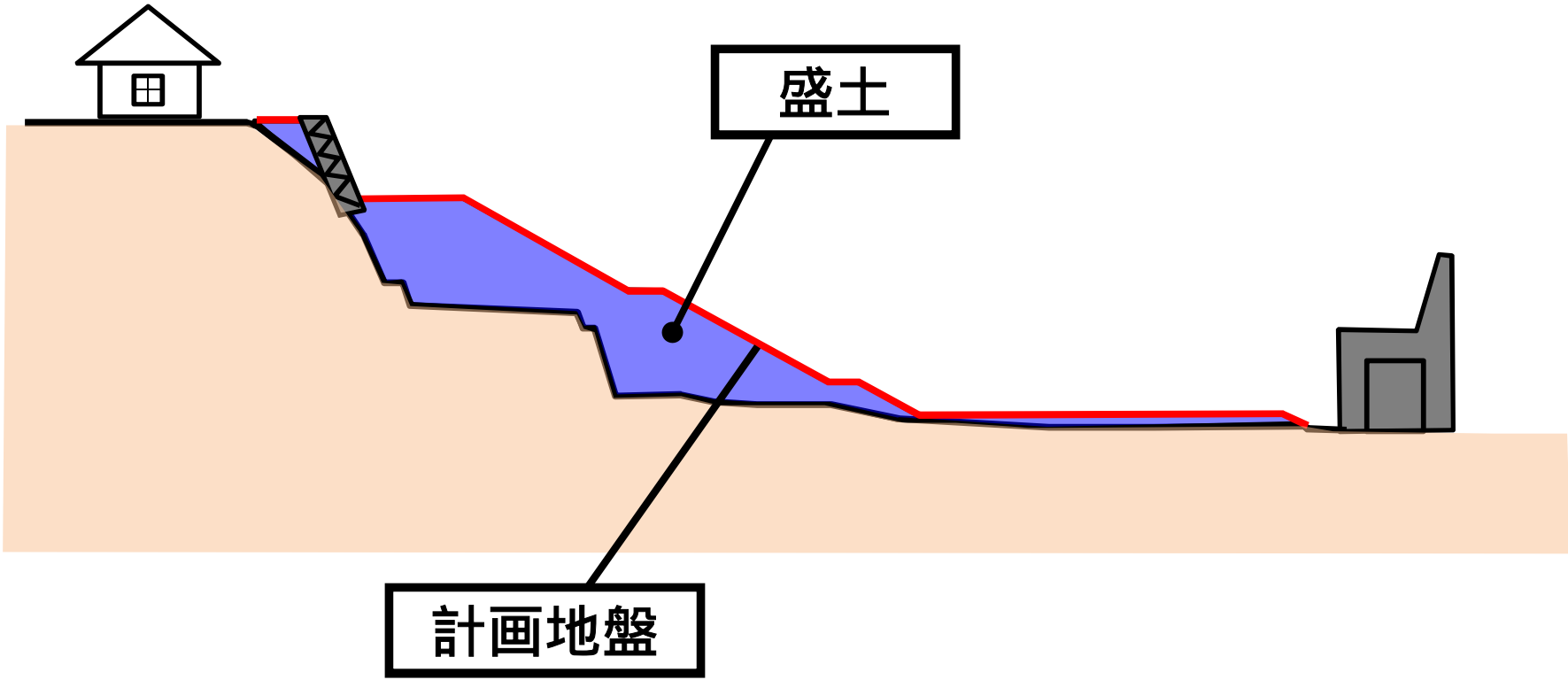




断面

宅地側

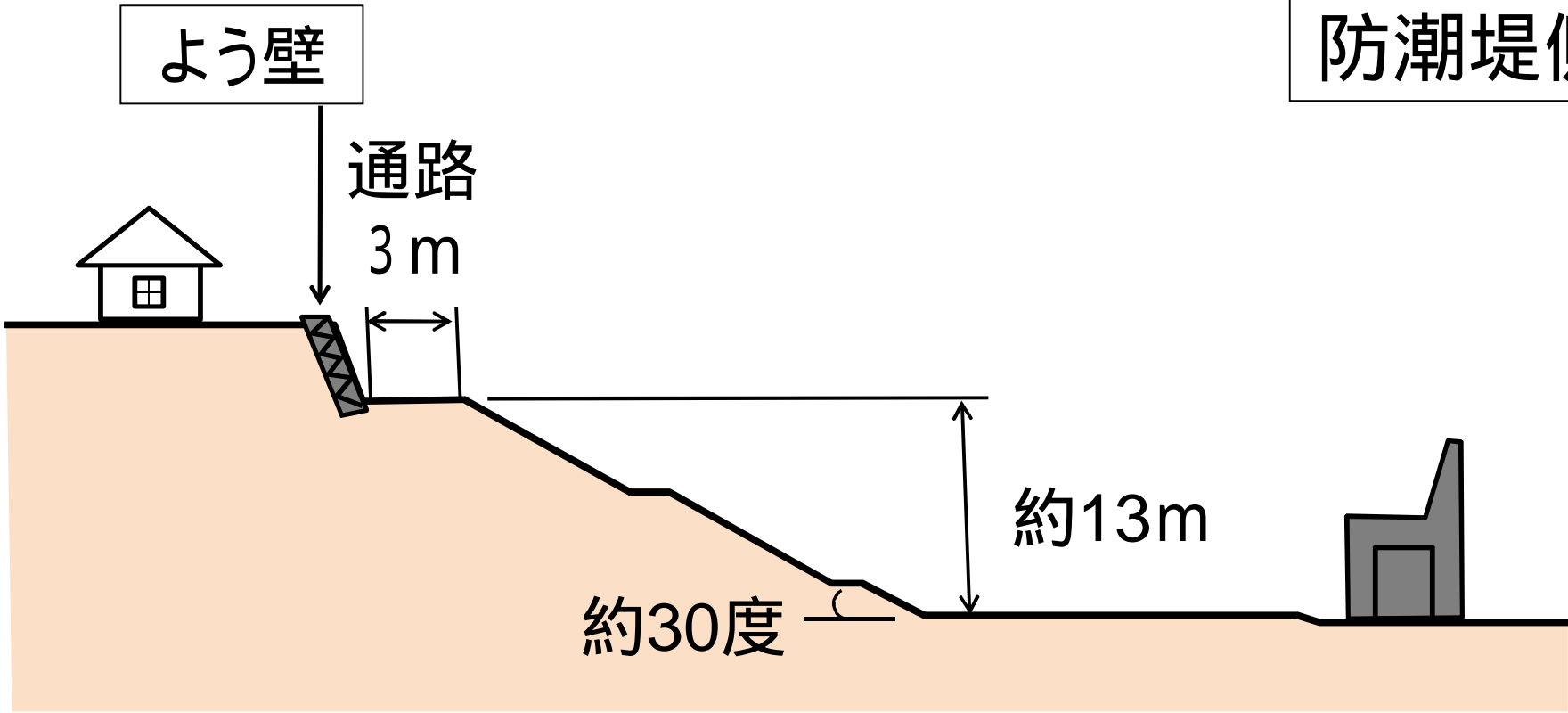
防潮堤側

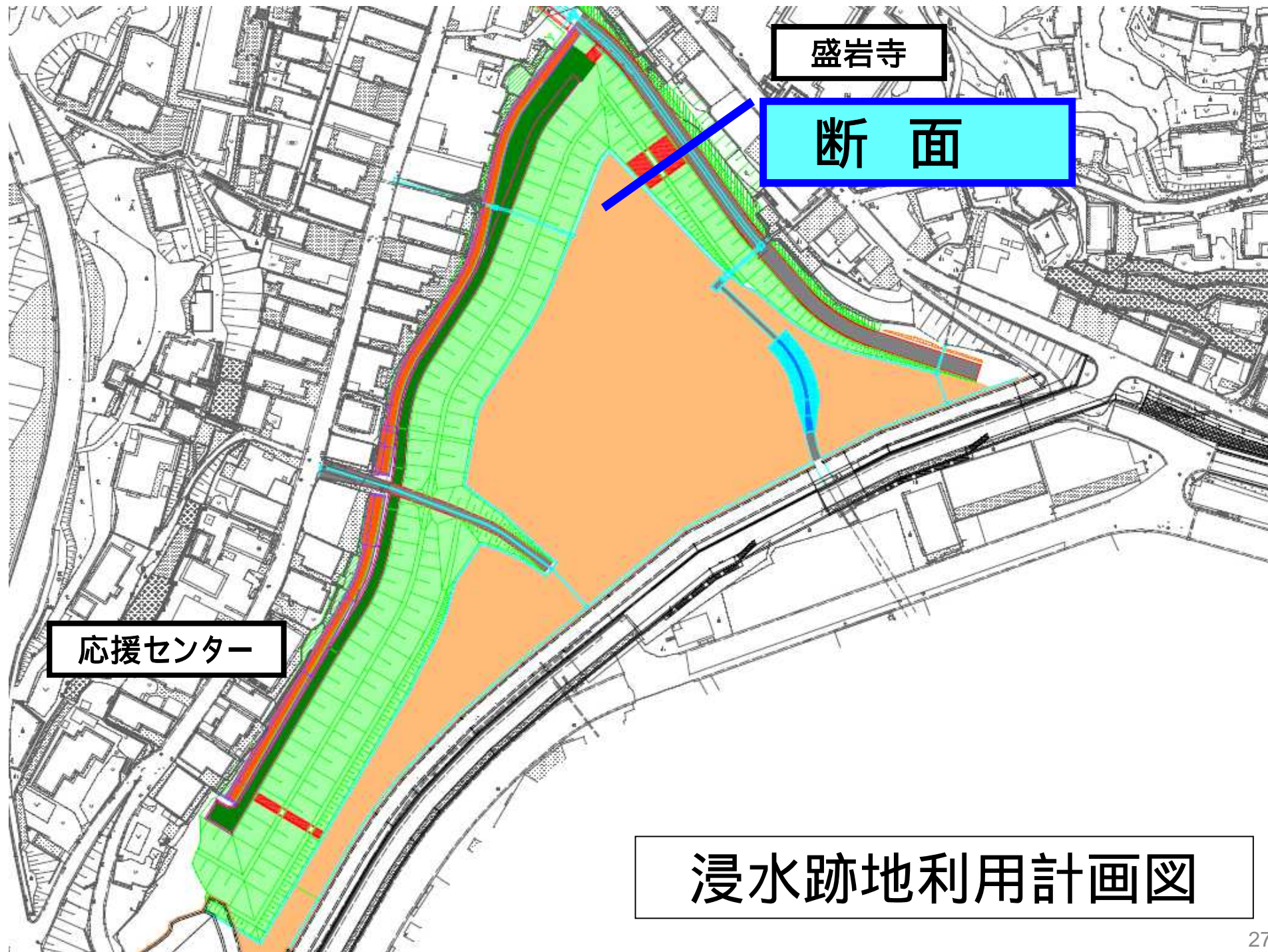


断面

宅地側

防潮堤側



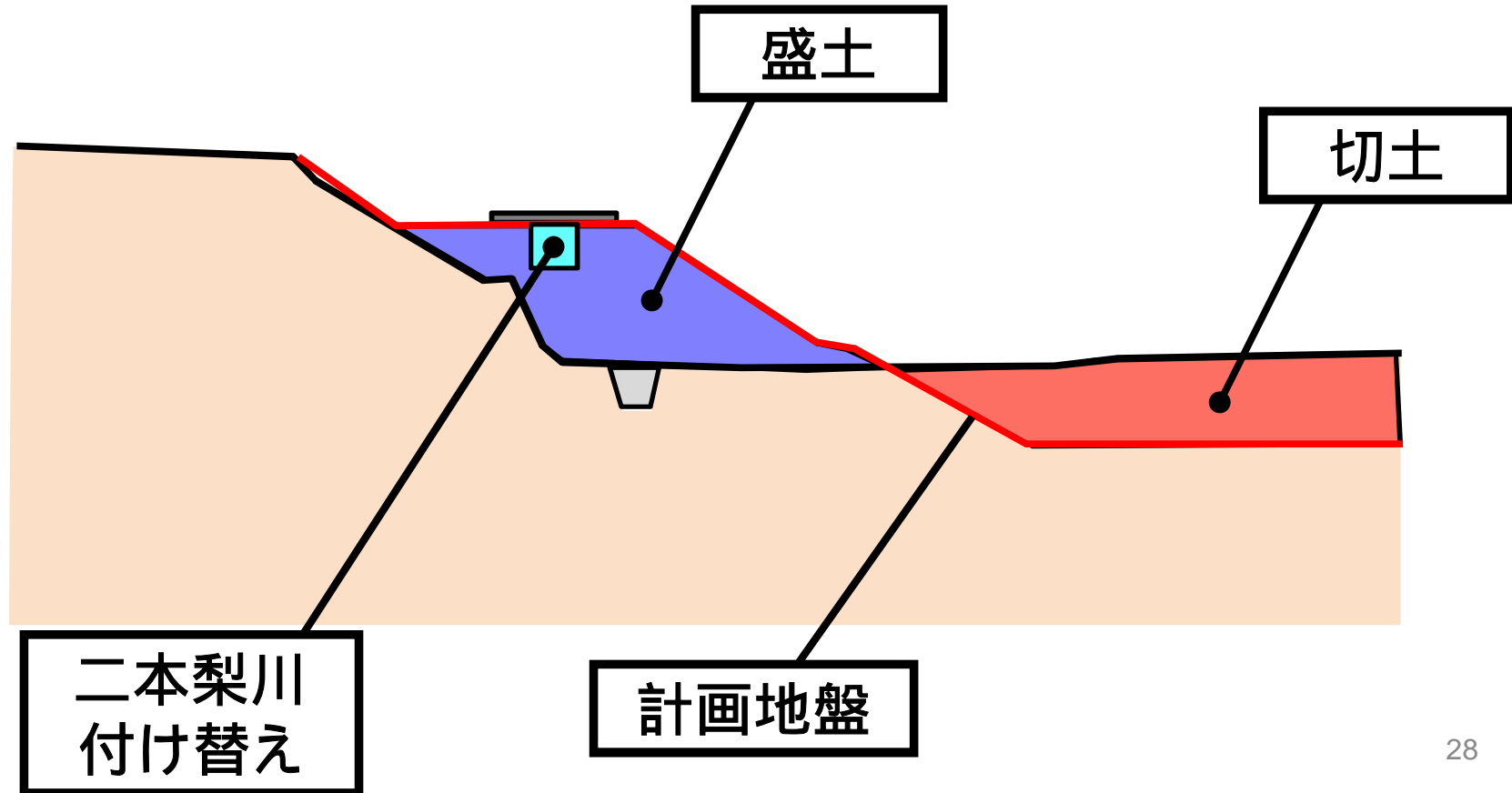


浸水跡地利用計画図

断面

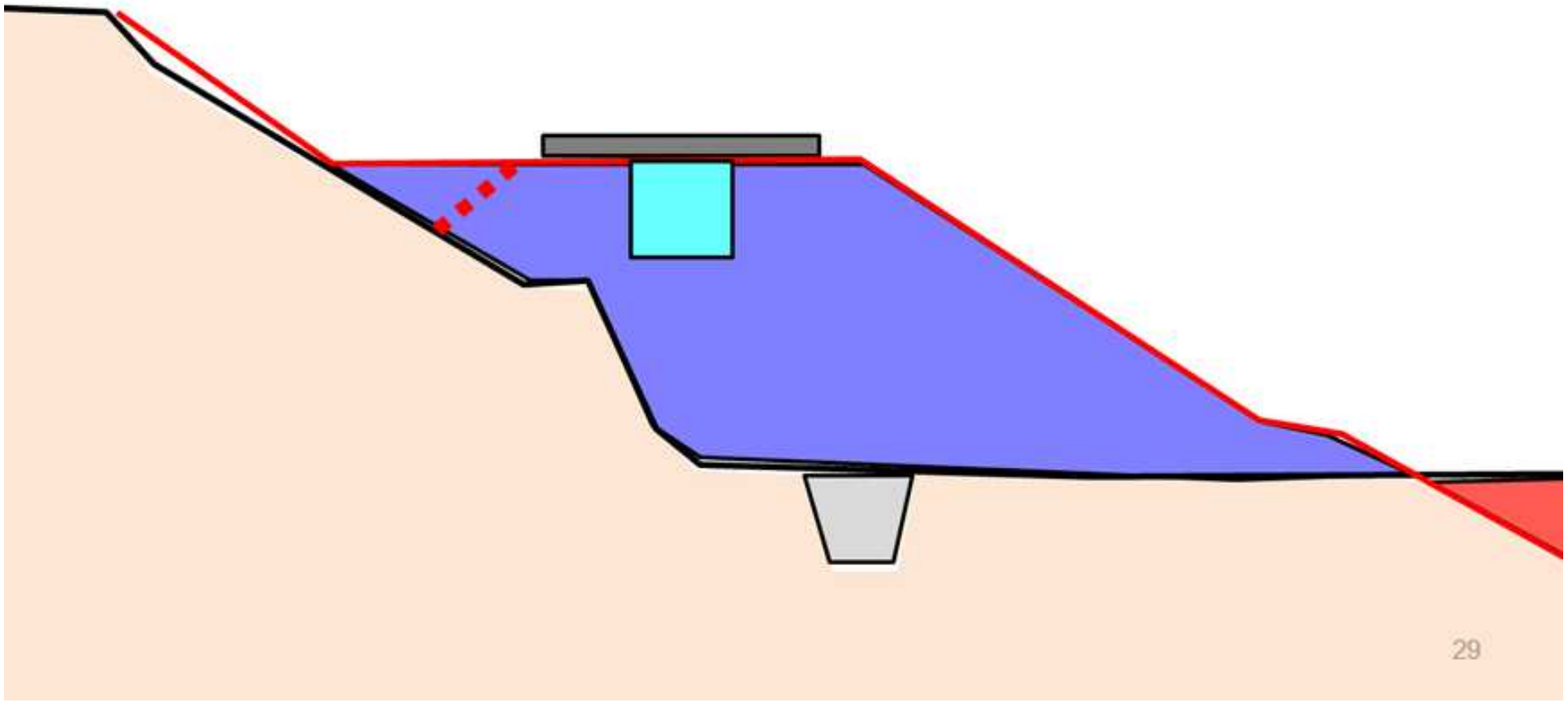
宅地側

浸水地側



宅地側

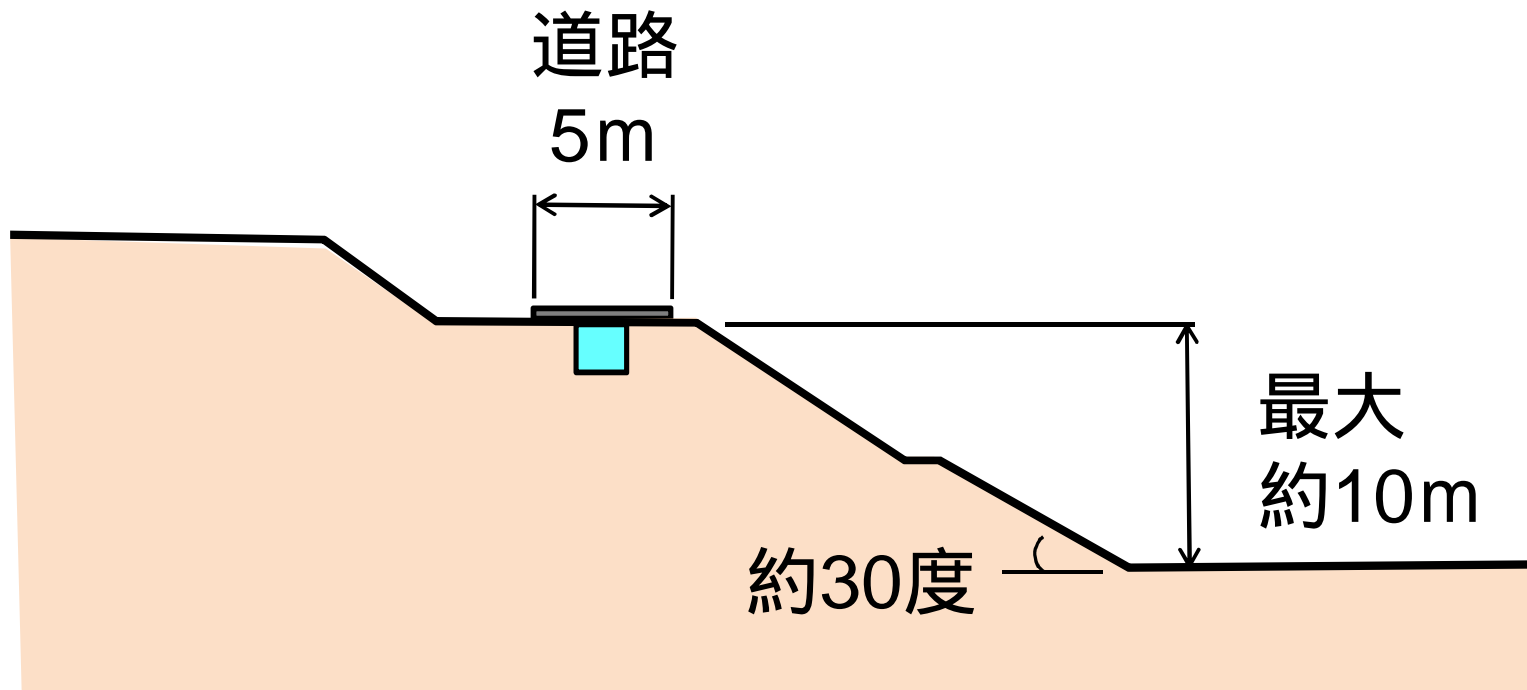
浸水地側



断面

宅地側

浸水地側



6. 復興公営住宅の今後の建設の進め方

今後の発注方法について(案)

発注方法の見直し(案) 競争入札から建物提案型買取方式へ

従来の発注方法

競争入札

新たに採用を検討している発注方法

建物提案型買取方式

建設業者を先に決めておく方法をとることで
入札不調のリスクを回避できるなどのメリット
があります。

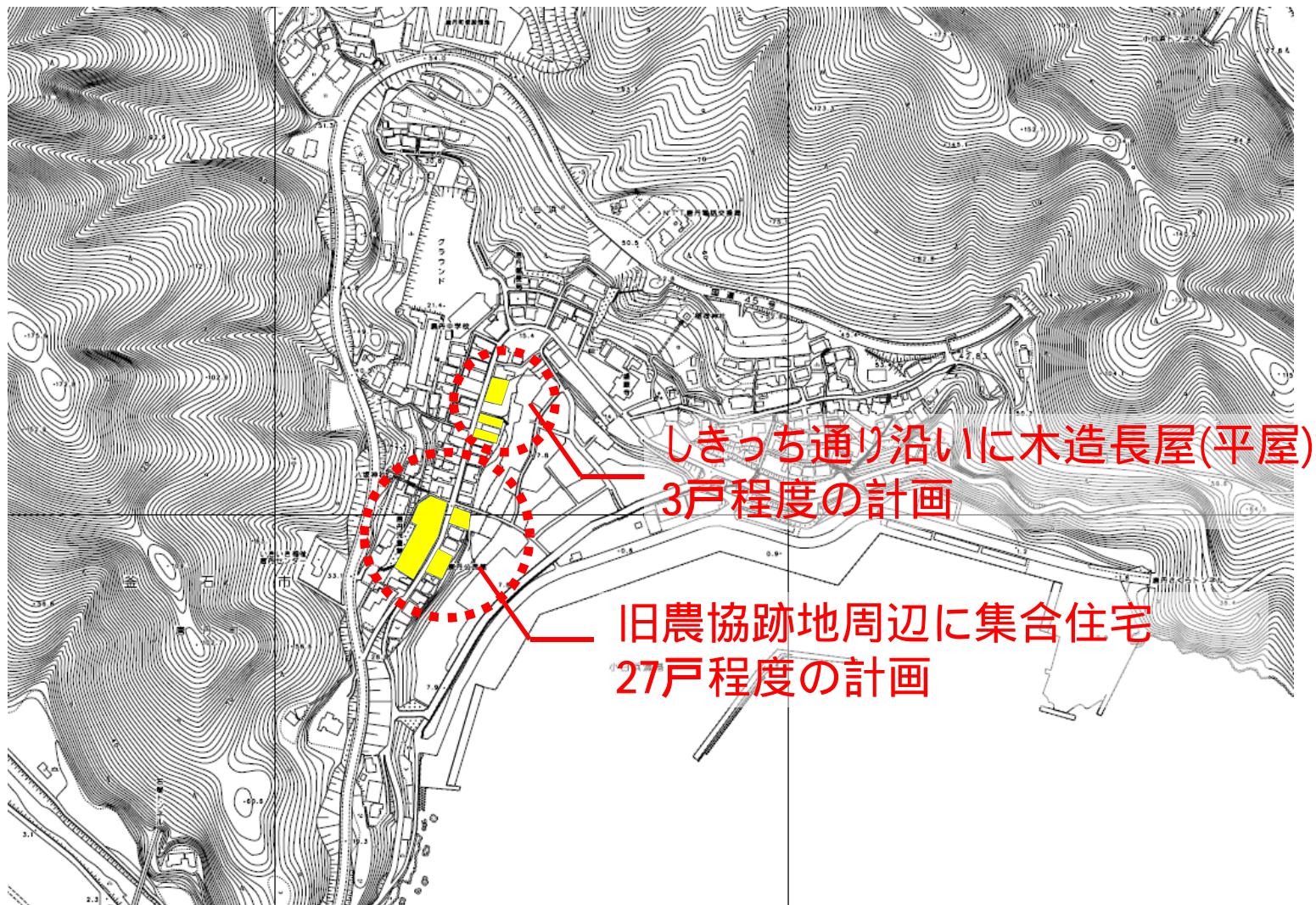
建物提案型 買取方式 とは

市が所有している土地に対して、民間事業者に復興公営住宅を建設(設計・施工)してもらい、完成した建物を、市が事業者から買い取る手法

土地	市有地のみ		
建物	市が買い取る	×	市が借りる

今後の発注方法について(案)

復興住宅の計画位置について(案)



今後の発注方法について(案)

スケジュール

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
これまでの経過		11月プロポーザル公示 1月プロポーザル最終選考 3月意見交換会(第一回) 4月意見交換会(第二回) 5月設計報告会	12月入札不調(工事施工業者が決まらず) 2月復興住宅説明会		
当初のスケジュール		【復興住宅1期】 業者選定 H24.11 ~ 設計 H25.3 ~ 発注 H25.11 ~ 工事 H26.1 ~ 2月入居開始			
↓			【復興住宅2期】 業者選定 H26.5 ~ 設計 H26.8 ~ 発注 H27.5 ~ 工事 H27.8 ~ 10月入居開始		
	今回のスケジュール		【復興住宅1+2期】 業者選定 H26.3 ~ 設計 H26.5 ~ 工事 H26.11 ~ 10月入居開始		

当初の入札方式と比べ、約12か月間の短縮
(1期については、約半年のずれ込み)

7. 意見交換
